

2023/12/1 第238号



青森県保険医協同組合

〒030-0823 青森市橋本 3-15-5
(TEL) 017-734-7212
(FAX) 017-734-7214

- ◆一人はみんなの為に、みんなはひとりのために！！
◆クリニック、診療所でも病院価格を！！
をスローガンに今年度事業を進めています。

12月1日現在 組合員数 656名 出資金 671口

ホームページを確認下さい。
当事業へのお問い合わせは
事務局(増田・類地)まで。



aomori-hkk.jp/work/ 検索

開業医は医療DXにどこまで対応すればよいのか

9月30日、医療ITに詳しいMICTコンサルティングの大西大輔氏を講師に、ここ数年で急速に進む医療デジタル化政策について「開業医は医療DXにどこまで対応すればよいのか」のタイトルで講演会を開催した。

講演は「医療機関を取り巻く環境の変化」、「政府の医療DX政策の現状と今後」、「クリニックDX」の3つの内容を柱として進められた。

【医療機関を取り巻く環境の変化】

新型コロナの感染拡大により、従来と環境が大きく変わり、三密対策のため待ち時間短縮や受付周辺のデジタル化対応等の課題が突きつけられた。



講師の大西氏 (Zoom 講演)

予約システムの導入が進むきっかけとなり、さらに外出制限が、駅や町の看板ではなく、ホームページ等のデジタルのマーケティングに取り組む必要を生じさせた。患者からはWeb予約による待ち時間短縮、手書きをしなくて済むデジタル入力の間診票、現金払い以外のキャッシュレスの支払い方法等のニーズがあり、これらを解決する手段としてDXの活用を検討しなければいけない環境になっている。

また、労働人口の減少も大きな問題となり、労働環境の待遇改善などが求められる中では、コストを下げ業務の効率化を図るためにDXを進める必要性が将来的には必ず生じる、と述べた。

【政府の医療DX政策の現状と今後】

政府の方針としては、2024年度中の電子処方箋の普及に努めるとともに、電子カルテ情報共有サービスを構築し、共有する情報を拡大。併せて介護保険、予防接種、母子保健、公費負担医療や地方単独の医療費助成などに係るマイナンバーカードを利用した情報連携を実現するとともに、次の感染症危機にも対応を目指すとしてされている。2026年度には、共通算定モジュールを本格的に提供し、標準型レセコン・電子カルテにより医療機関等の間接コストを削減。2030年に予定されている電子カルテの標準化は、特定の規格に則った仕様を標準化し、医療機関同士のデータ交換や共有のため、電子カルテ情報を標準化する。電子カルテシステムというハード的な標準化で

はなく、カルテの記載内容を標準化すると解釈なので注意が必要。

診療報酬改定DXに対応するための施行時期の後ろ倒しについては、これまで診療報酬改定に伴い、答申や告示から施行、初回請求までの期間が短く、医療機関・薬局等及びベンダーの業務が逼迫し大きな負担がかかっていたことから、今後は施行時期を後ろ倒しし、負担の平準化や業務の効率化を図ることが目的とされていること等、今後予定されている動きを詳しく説明。

さらに各政策の推進の際に、義務化されるまでは強制ではなく、義務化されてからの検討で構わないこと、義務化する際に各種補助金が用意されている場合、見逃さず確実に活用することを強調した。

【クリニックDX(デジタルツールを活用した業務変革)】

環境の変化と政府の政策が示すように、ルールとニーズの変化に対応するための課題に、DXの導入が解決の手助けになるなら検討。

待ち時間に課題があるなら、予約システムや問診業務のデジタル化。人手不足に課題があるなら、自動受付やセルフレジ。業務効率化に課題があれば、クラークの養成やレセプトチェックシステムと、DXを導入することにより、自院の業務改善に繋がるならば検討が必要。業務効率化に関しては、忙しい院長の業務をスタッフに役割分担する具体的な手法として、問診業務のデジタル化、レセプト点検のタイミングのえ方、医師のカルテ作成を分散させる「タスクシフティング」等を説明し、特に有効となるクラーク運用に関してはルール作りの重要性に触れ、ルールを明確化することによりスムーズに業務が流れる手法を詳しく解説した。

デジタル化することが目的なのではなく、医院が抱えている課題解決の手段として、デジタル化が手助けになるなら進める。現場を変える手段がデジタル化なのかとの考え方が重要であることは何度も強調した。

質疑応答では、地方の診療所におけるデジタル化対応の必要性についての問いに、地方でもインターネットは繋がり、宅急便も使えるから薬も届く。首都圏でのオンライン診療に地方から患者が流出している。今後今以上にバーチャル化が進む世の中では、これからの若い世代の患者を中心に競合先は近隣エリアだけではなく、首都圏にも及ぶことは意識しておくことが必要と答えた。

※前月号が地区総代選挙公示の紙面利用の為、9月の企画ですが今月号の掲載となりました。

歯科用金パラ 価格変動推移

キャストウェルの価格は7万1千円～7万3千円台で推移しています。

11月17日から価格が変わっておらず、73,000円で安定していますが、11月前半のように連日価格は変動するのが通常ですので、都度お問い合わせを！

Table showing dental gold prices for various dates in November: 11/1 (73,400), 11/7 (72,800), 11/9 (71,800), 11/13 (71,500), 11/14 (71,800), 11/15 (72,200), 11/16 (72,700), 11/17 (73,000). Note: (表示価格は税別価格です)

開業医共済協同組合

組合員への利用分量配当率は13%に決定

10月29日に開業医共済協同組合第14期(2022年8月1日～2023年7月31日)総代会をTKP東京駅カンファレンスセンターで開催し、事業報告・決算報告・剰余金処分案・第14期事業計画案・収支予算案等の全10議案が賛成多数で可決された。

2022年度利用分量配当は13%(配当総額44,163,236円)に決定され、組合員宛に12月上旬頃に個別発送予定。総代の皆様へは、議決権行使にご協力いただき感謝申し上げます。

支払件数・支払金額(年度別推移)

Table showing payment statistics by year: 2019 (124 cases, 43.39%), 2020 (164 cases, 45.39%), 2021 (211 cases, 41.59%), 2022 (378 cases, 70.39%).